

令和2年度

# 尼崎市民芸術賞 尼崎市文化功労賞

## 推薦要領

締切日 令和2年6月30日(火)

### 【推薦方法】

1. 推薦書 (1)「尼崎市民芸術賞推薦書」による  
(2)「尼崎市文化功労賞推薦書」による
2. 募集期間 令和2年6月1日(月)～6月30日(火)＜必着＞
3. 提出先 尼崎市昭和通2丁目7-16(〒660-0881)  
(公財)尼崎市文化振興財団 事業部事業課 美術担当  
TEL 06-6487-0806  
FAX 06-6482-3503  
E-mail:nishida-susumu@archaic.or.jp(担当:西田)

# 「尼崎市民芸術賞」表彰要綱

## 1. 目 的

この表彰は、芸術性の高い優秀な作品等を創作し、全国規模の活動を展開している者を顕彰することによって、市民の芸術文化創造への意欲を喚起し、本市の芸術文化の振興を図ることを目的とする。

## 2. 名 称

尼崎市民芸術賞（以下「芸術賞」という。）と称する。

## 3. 表彰基準

尼崎市出身、尼崎市内に居住または勤務する者で、芸術性の高い優秀な作品を創作し、全国規模の活動を展開している者、もしくは、尼崎市出身、尼崎市内に居住または勤務していることをとわず、尼崎市においてその活動が顕著で、本市の芸術文化の振興に貢献した者。

### 活動分野

文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、メディア芸術、その他の芸術

## 4. 選考方法

- (1) 公募を原則とし、自薦または他薦の方法により芸術賞の表彰基準に該当する者を推薦しようとする者は、「尼崎市民芸術賞推薦書」に様式（尼崎市民芸術賞候補者推薦書）を添えて市長に申し出る。
- (2) 市長は、前項の選定にあたって、公正かつ適切に行うため、芸術賞選考会の意見を聞いて決定する。
- (3) 芸術賞選考会は、表彰事業に関する協定書に基づき、公益財団法人尼崎市文化振興財団により各芸術分野に精通した5人以内の委員で組織されるものとする。
- (4) 委員の任期は2年とする。ただし再任することを妨げない。再任による任期は最長で5期10年までとする。

## 5. 表 彰

- (1) この表彰は、市長が年1回行う。
- (2) 被表彰者に、表彰状並びに副賞を贈る。
- (3) 被表彰者は、芸術賞1人とする。

## 6. この要綱に定めるもののほか、表彰に必要な事項は市長が別に定める。

### 付 則

この要綱は、昭和39年6月1日から施行する。

平成2年7月20日 一部改正

平成7年7月20日 一部改正

平成29年6月6日 一部改正

平成30年5月7日 一部改正

令和2年5月8日 一部改正

# 尼崎市民芸術賞推薦書

尼崎市民芸術賞表彰要綱に基づき、表彰基準に該当するものとして、次の者を推薦します。

令和2年 月 日

尼崎市長 稲村 和美 あて

(推薦者)

ふりがな  
名 称

所在地

TEL

代表者氏名

印

尼崎市民芸術賞候補者推薦書

候補者	ふりがな 氏名		生年月日	年 月 日
			性別	
	<input type="checkbox"/> 尼崎市出身 <input type="checkbox"/> 市内に居住 <input type="checkbox"/> 市内に勤務 <input type="checkbox"/> 市内に活動の拠点がある <input type="checkbox"/> 市内での顕著な活動がある		職業	
	住所		TEL	
	Eメール			
活動分野	<input type="checkbox"/> 文学 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 演劇 <input type="checkbox"/> 舞踊 <input type="checkbox"/> メディア芸術 <input type="checkbox"/> その他の芸術( )			

推薦理由

当賞に相応しいと推薦する理由を、芸術文化の振興、地域への貢献が分かるよう具体的にご記入ください。

所属名等

経歴・受賞歴等

(記入例) 1989年〇月兵庫県尼崎市生まれ、2012年3月〇〇大学〇〇学部卒業

年 月  
 年 月  
 年 月  
 年 月  
 年 月  
 年 月  
 年 月  
 年 月

特筆すべき活動歴

時期、活動内容が分かるよう箇条書きでご記入ください。

(記入例) 2017年〇月〇日 〇〇(場所・会場)にて「〇〇」を開催。2018年〇〇を出版。

推薦者	ふりがな 氏名		生年月日	年 月 日
	住所	〒	TEL	

その他、選考の参考になる資料(例)写真、DVD、CD等があれば推薦書に同封ください。  
 (推薦書と同封の資料は返却できませんので、ご了承ください。)

「尼崎市民芸術賞」及び「芸術奨励賞」過去の受賞者名一覧

回	年度	賞	氏名	部門
1	昭和39年	芸術奨励賞	前田 正夫 田辺 聖子	洋画 文学
2	昭和40年	芸術奨励賞	白髪 一雄 布田 源之助	洋画 随筆
3	昭和41年	芸術奨励賞	岡本 静心 増山 浩康	文学 日本画
4	昭和42年	芸術奨励賞	大高 猛 野田 房吉	グラフィックデザイナー 和船模型
5	昭和43年	芸術奨励賞	伊丹 三樹彦 荻原 一青	俳句 日本画
6	昭和44年	芸術奨励賞	岩宮 武二 池水 慶一	写真 造形美術
7	昭和45年	芸術奨励賞	前川 龍山 一輪亭 花咲 小林 陸一郎	書道 芸能 造形美術
8	昭和46年	奨励賞	伊丹 公子 長久 天徳	文学 書道
9	昭和47年	芸術奨励賞	桂 米朝 清水 影村	芸能 書道
10	昭和48年	芸術奨励賞	穎田島 一二郎 中村 百合子 園部 琴城	文学 洋画 書道
11	昭和49年	奨励賞	片岡 敏男 森田 峠 和田 正義	写真 俳句 彫刻
12	昭和50年	芸術奨励賞	豊竹 団司 小山 鳥雲	義太夫 書道
13	昭和51年	芸術奨励賞	佐藤 宋石 赤井 藤男	書道 能楽
14	昭和52年	芸術奨励賞	三村 幸一 有方 敏郎	写真 洋画
15	昭和53年	芸術奨励賞	小寺 勇 木村 西郎	俳句 声楽
16	昭和54年	芸術奨励賞	前田 野生子 萩本 紫苑	俳句 書道
17	昭和55年	芸術奨励賞	中村 茂雄 小林 志保里	洋画 書道
18	昭和56年	芸術奨励賞	井上 大彊 田中 修二	書道 音楽
19	昭和57年	芸術奨励賞	菖蒲 洸 吉田 廣喜	日本画 現代美術
20	昭和58年	芸術奨励賞	竹田 長年 西川 香龍	洋画 書道
21	昭和59年	芸術奨励賞	赤羽 恒男 小林 とし	洋画 音楽
22	昭和60年	芸術奨励賞	藪田 泰生 有野 永霧	書道 写真
23	昭和61年	芸術奨励賞	木川田 誠 坪内 稔典	音楽 俳句 評論

回	年度	賞	氏名	部門
24	昭和62年	芸術奨励賞	富田 克 村上 栄苑	洋画 書道
25	昭和63年	芸術奨励賞	中島 双風 田崎 徹	俳句 洋画
26	平成元年	芸術奨励賞	嶋中 蓬春 松田 彰	書道 現代美術
27	平成2年	芸術奨励賞	亀井 幸太郎 山村 啓雄	染色 凶案 能楽
28	平成3年	芸術奨励賞	吉原 栄徳 辻井 清幸	文学 音楽
29	平成4年	芸術奨励賞	望月 美佐 松尾 昌美	書道 指揮
30	平成5年	芸術奨励賞	山岡 哲山 星野 尚	吟詠 タラシア
31	平成6年	芸術奨励賞	吉田 泰巳 笠井 隆良	茶華道 洋画
32	平成7年	芸術奨励賞	栗山 昌良 尼子 騒兵衛	オペラ 演出 漫画
33	平成8年	芸術奨励賞	武下 和平 芦原 昌子	奄美民謡 声楽
34	平成9年	芸術奨励賞	安 迪 坂上 弘志	日本画 器楽
35	平成10年	芸術奨励賞	古谷 充 山岡 桜山	器楽 吟詠
36	平成11年	芸術奨励賞	木村 吉宏 浜本 隆司	指揮 現代アート
37	平成12年	芸術奨励賞	宗清 洋 本家 規代	器楽 器楽
38	平成13年	芸術奨励賞	藤間 勘二郎 阪本 朋子	邦舞 器楽
39	平成14年	芸術奨励賞	有野 永霧 吉田 早夜華	写真 声楽
40	平成15年	芸術奨励賞	桂 吉朝	芸能
41	平成16年	芸術奨励賞	古澤 巖 石本 興司	器楽 演劇
42	平成17年	芸術奨励賞	横田 浩和 金子 浩三	声楽 音楽
43	平成18年	芸術奨励賞	内藤 裕敬 小西 潤子	演劇 声楽
44	平成19年	芸術奨励賞	山本 昭子 橋 久美子	染色 演劇
45	平成20年	芸術奨励賞	辻井 清幸 尾崎比佐子	指揮 声楽
46	平成21年	芸術奨励賞	河井 喜代子 畑田 弘美	染色 声楽
47	平成22年	芸術奨励賞	川口 和彦 牧村 邦彦	洋画 指揮





# 「尼崎市文化功労賞」表彰要綱

## 1 目的

この表彰は、尼崎市において、文化活動に永年従事し、特に功労があった者を讃えること  
によって、市民文化の向上発展をはかることを目的とする。

## 2 表彰基準

尼崎市において、各種文化活動に永年従事し、市民文化の向上に貢献したと認められる者  
のうちで、次の要件を満たすもの。

- (1) 文化活動に指導的立場として30年以上従事している者。
- (2) 尼崎市内に居住している者又は尼崎市内の会社、事業所等に勤務している者。

## 3 選定方法

- (1) 公募を原則とし、表彰基準に該当する者（以下「候補者」という。）を推薦しようとする  
者は、「尼崎市文化功労賞推薦書」に様式（尼崎市文化功労賞候補者推薦書）を添えて市  
長に申し出る。
- (2) 表彰を受ける功労者は、前項の候補者の中から選定する。
- (3) 市長は前項の選定にあたって、公正かつ適切に行うため、関係者による選考会の意見を聞  
いて決定する。
- (4) 関係者による選考会は、表彰事業に関する協定書に基づき、公益財団法人尼崎市文化振興  
財団により文化芸術に精通した5人以内の委員で組織されるものとする。
- (5) 委員の任期は2年とする。ただし再任することを妨げない。再任による任期は最長で5期10  
年までとする。

## 4 表 彰

- (1) この表彰は、市長が毎年行う。
- (2) 被表彰者には、表彰状と記念品を贈る。
- (3) 被表彰者は、3人以内とする。

## 5 文化活動の範囲

- (1) 文学 (2) 音楽 (3) 美術 (4) 写真 (5) 演劇 (6) 舞踊 (7) 映画 (8) 漫画  
(9) アニメーション (10) 雅楽 (11) 能楽 (12) 文楽 (13) 歌舞伎 (14) 芸能 (15) 茶道  
(16) 華道 (17) 書道 (18) その他市長が適当と認めたもの

## 6 文化功労特別賞

市長は文化に関し全国的に水準の高い賞を受賞した者等で、市民文化の向上に多大な貢献を  
した者に対し、表彰基準の(1)の要件にかかわらず文化功労特別賞を贈ることができる。  
文化功労特別賞の被表彰者には、表彰状と記念品を贈る。

## 7 その他

この要綱に定めるもののほか、表彰に必要な事項は市長が別に定める。

## 付 則

この要綱は、昭和46年9月7日から施行する。

平成2年7月20日 一部改正

平成8年8月15日 一部改正

平成29年6月6日 一部改正

平成30年5月7日 一部改正

令和2年5月8日 一部改正

# 尼崎市文化功労賞推薦書

尼崎市文化功労賞表彰要綱に基づき、表彰基準に該当するものとして、次の者を推薦します。

令和2年 月 日

尼崎市長 稲村 和美 あて

(推薦者)

ふりがな

名 称

---

所 在 地

---

TEL

---

代表者氏名

印

---



所属名等

経歴・受賞歴等

(記入例) 1989年〇月兵庫県尼崎市生まれ、2012年3月〇〇大学〇〇学部卒業

年 月  
 年 月  
 年 月  
 年 月  
 年 月  
 年 月  
 年 月  
 年 月

特筆すべき活動歴

時期、活動内容が分かるよう箇条書きでご記入ください。

(記入例) 2017年4月～2018年5月まで(1年1ヶ月)〇〇を指導。

推薦者	ふりがな 氏名		生年月日	年 月 日
	住所	〒	TEL	

その他、選考の参考になる資料(例)写真、DVD、CD等があれば推薦書に同封ください。  
 (推薦書と同封の資料は返却できませんので、ご了承ください。)

「尼崎市文化功労賞」過去の受賞者名一覧

回	年度	氏名	部門	回	年度	氏名	部門	回	年度	氏名	部門
1	昭和46年	有馬 文夫	園芸	14	昭和59年	北浦 牧郎	川柳	27	平成9年	桂樹 満喜雄	洋画
		牛尾 桃里	日本画			中森 操	文化活動一般			西村 日出男	園芸
		阪本 梅月	華道			山下 こま子	日本画			守田 椰子夫	俳句
2	昭和47年	福田 岩三	浄瑠璃	15	昭和60年	安藤 豊司	俳句	28	平成10年	笠原 嘉人	吟詠
		吉田 宗年	茶華道			高橋 省三	短歌			小泉 八重子	俳句
		若柳 吉奈美	邦舞			玉置 利久	洋画			安田 武茂	郷土文化
3	昭和48年	池田 景一	洋楽	16	昭和61年	梅本 和子	茶華道	29	平成11年	青山 静子	民踊
		今村 宏	園芸			梶本 孫一	園芸			伊藤 陽仁	写真
		小松原 翠邨	日本画			阪口 孝	工芸 陶芸			森本 政利	書道
4	昭和49年	鈴木 光暎	日本画	17	昭和62年	田中 秀雄	洋画	30	平成12年	保田 三千男	園芸
		天堂 仙洲	吟詠			広岡 久枝	吟詠			上村 貞子	工芸
		中島 双風	俳句			安田 五郎	文化活動一般			土谷 正利	書道
5	昭和50年	上村 秀男	文学	18	昭和63年	黒川 増太郎	川柳	31	平成13年	菊尾 松寿	箏曲
		小山 清峯	俳句			藤本 啓	短歌			堀江 素琴	書道
		田中 久仁子	茶道			渡邊 弘	洋画			本家 恒雄	洋楽(ピアノ)
6	昭和51年	中村 茂雄	洋画	19	平成元年	坂本 勝	吟詠	32	平成14年	石井 富子	書道
		森 誠太郎	邦楽			作 松太郎	洋楽(吹奏楽)			岡田 康和	音楽
		横山 速生	茶華道			須佐美 政雄	園芸 菊			藤間 三千夜	邦舞
7	昭和52年	小寺 忠正	邦楽	20	平成2年	鐘ヶ江 種甫	茶華道	33	平成15年	家久 静子	書道
		佐伯 一郎	園芸			辻井 耕一	園芸 卓月ソ			井関 たね子	茶華道
		平 清次	文学			保田 二郎	洋画			前田 澄夫	洋楽(ギター)
8	昭和53年	石原 泰太郎	吟詠	21	平成3年	氏田 良一	短歌 郷土史	34	平成16年	矢田 宣光	囲碁
		黒阪 清子	邦舞			増戸 秀邦	書道			牛尾 翠葉	書道
		小桜 佳世	邦舞			山本 壽々代	工芸			宮原 万里子	組紐
9	昭和54年	狩谷 春樹	邦楽	22	平成4年	中島 玉衣	茶華道	35	平成17年	藤本 尚	書道
		野田 宗庵	茶道			藤原 友五郎	吟詠			上村 武男	文学
		松井 定雄	書道			山根 淑子	演劇			橋本 美和子	洋楽(大正琴)
10	昭和55年	北 義人	短歌	23	平成5年	原田 昇	短歌	36	平成18年	伊藤 登子	洋舞
		広川 宗鶴	茶道			吉田 あき子	民謡			松井 茂夫	書道
		向井 義幸	園芸 菊			黒嶋 良江	工芸			藤井 實夫	素浄瑠璃
11	昭和56年	中尾 二郎	園芸 卓月	24	平成6年	高野 照子	工芸	37	平成19年	山岡 翠山	吟詠
		野草 富太郎	日本画			矢内 江春	書道			馬場 武彦	洋楽(吹奏楽)
		吉山 芳良	演劇			田中 しげ子	茶華道				
12	昭和57年	下里 智恵子	洋楽(声楽)	25	平成7年	岡野 洞之	俳句	38	平成20年	菅 静男	民謡
		豊澤 源平	浄瑠璃 三味線			喜多 博子	書道			田屋 茂	洋楽
		沼 正三	ユネスコ活動			中西 佐和	民舞			本家 浄子	洋楽
13	昭和58年	高田 銀蔵	民俗 芸能	26	平成8年	小南 梅山	吟詠	39	平成21年	中村 源治	能楽
		中尾 正一	洋画			佃 勇	卓月 盆栽			服部 珠子	華道
		吉川 陽子	俳句			山本 昭子	染織			蔵本 誠子	バレエ

